

TIJOP

よし、動物たちに会いに行こう。



# 移動動物園が考えた、動物教育 「動育」

将来、動物たちの悲しい事故が無くなるよう動物の尊厳を尊重し、ふれあい方のわかる子供たちを育てる。

# 「動育」とは何か？

## 生まれた背景

- ① 動物を物のように扱う子供が多いこと。
- ② 動物の虐待や、殺処分など動物の尊厳を無視した出来事が、今なお行われている事。
- ③ 動物に関する問題はビジネスである場合が多いので、現実何も変わらない。

①～③の点について私たちは、子供の時分にきちんと教育をすれば、将来、虐待や殺処分、また尊厳を無視したビジネスに携わる子がいなくなり、相対的にその数は下がるのではないかと考えます。その動物教育システムこそが「動育」となります。

# 子供の成長への影響力



- ▶ 動物に触れることは、子供たちにとっては多くの事を学べる機会となります。
- ▶ 命の大切さ、思いやり、優しさ、寛容な心、慈しみの気持ち、心の安定や協調性、愛着心、責任感、はたまた免疫力アップと挙げればキリがありません。
- ▶ そんな中、現在では、「動物介在教育」や「動物愛護教育」などがすでに行われています。

# 教育現場の現状 (Web 及び文部科学省学習指導要領・生活より抜粋)

## 現状及び問題点

幼稚園および小学校教育では、生物教育や道徳教育などを目的として、生活科、理科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間等において動物飼育を奨励している。動物飼育は子ども達に生物を愛護し生命を尊重する態度を育てるとともに、生命を理解させ、他人への愛情や共感を養うなどの効果を期待されている。また、学校における動物飼育体験や動物とのふれあいを通じて、いわゆる食農教育や食育教育の試みも行われている。

しかし、現在、小学校教員養成課程には動物飼育や動物と人の関係を学ぶ授業がないため、ほとんどの教師は動物飼育の子どもへの影響や意義、またその効果を得るための適切な飼育法などについての知識を持っていない。そのため、動物の生理、習性を考慮しない飼育が行われるなど、動物愛護の精神になじまない状況が見られ、その結果、子どもたちは動物の死に鈍感になったり、動物の惨状に心を痛める我が子を見た保護者が獣医師に助けを求めるなどの例が報告されている。

## 既存教育と 動育の違い



- ▶ 既存の「動物介在教育」や「動物愛護教育」は子供たちの成長過程に動物を利用することで、様々な心が育つという試み。

(人間中心的思考で、さわり方などの教育は無い。故に動物にとってはストレスが大きいと考えられる)

- ▶ 「動育」は、動物のさわり方や尊厳の尊重を学ぶことで、子供たちに様々な心が育つという試み。さらに将来の動物問題も解決できる可能性も秘める。
- ▶ (動物中心的思考に基づく)

# 動育の流れ



オリジナルの冊子を全員に配布。



紙芝居にて尊厳の尊重を学習する。



動物の触れ方、抱っこの仕方を勉強。



実際に動物と触れ合ったり、見たりする。



直後に感想文を書き終了。

---

TIJOPZOOの動物たちは、完全室内飼育しており、外部接点を極力減らすことで、動物感染症や菌の持ち込みが無いよう工夫対策しております。





## 動育の効果



- ▶ 動物の尊厳を尊重する心
- ▶ 動物に対するふれあい方
- ▶ 生物多様性の理解
- ▶ 3項で述べた心身の成長
- ▶ 団体行動の練習
- ▶ 協調性や譲り合いの精神

など、様々な効果が期待できます。

そして彼らが大人になった時、親になった時、  
動物と人間の関係の変化も期待できます。

# 動育のメリット



- ▶ コロナ禍でも実施可能な、セルフ（ほぼ無人）開催プランも完備。
- ▶ 室内開催できるので、天候の心配ありません。
- ▶ 移動動物園として訪問するので、時間を有効活用できる。
- ▶ 往復時の事故の心配がない。
- ▶ 遠足等の経費と変わらない料金。
- ▶ 動物園は家族で行けるが、動物の教育は学校でしかできない。
- ▶ 終了直後に感想文を書け、本当の気持ちを知ることが出来る。
- ▶ 冊子を持ち帰り、親と一緒に再度見ることが出来る。
- ▶ 教育指導の差別化になる。



# 動育のデメリット



- ▶ 遠足等のイベントと混同されやすい。
- ▶ 動物アレルギーの子の対応。  
(これは動物園も同じ)
- ▶ ゾウやライオンなどの動物はいない。

# 動育導入のご提案

- ▶ 動育は様々な面で、今までの物とは違ったアプローチのため、既存の計画を見直し、チャレンジすることはなかなか勇気のいる事であります。
- ▶ もちろん私たちは、動物園に行く目的や意義も十分に理解しております。
- ▶ しかしながら、時代は常に変化しており、人の行動や考え方も変化に応じた対応をしなければなりません。
- ▶ 幼稚園・保育園であれば年長さん。小学校であれば1年生もしくは2年生の時に動育学習を組み込んでみてはいかがでしょうか。

## 私たちの願い



- ▶ 動物たちの問題を、動育を受けた未来の大人たちが解決し、より良い社会になっていくことを切に願います。
- ▶ 是非ともこの趣旨にご賛同いただく教育機関が増えること切に願います。
- ▶ 子供の成長は大人の行動にかかっております。

ありがとうございました。

# TIJOPZOO概要



〒337-0053

埼玉県さいたま市見沼区大和田町1-1917-1

TEL 048-884-9329 FAX 048-884-9741

WEB <http://tijopzoo.com> Mail [info@tijopzoo.com](mailto:info@tijopzoo.com)

動物取扱業：展示、販売 登録番号 第797号

2019年2月6日～2024年2月5日

動物取扱責任者 篠崎宏美

業務内容

移動動物園、ふれあい動物園、動育プログラム

アニマルリラクゼーション「RABBIT THE ZEN」